



2025年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月7日

上場会社名 株式会社フルヤ金属 上場取引所 東
コード番号 7826 URL <https://www.furuyametal.s.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古屋 堯民
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務・経理部長 (氏名) 尾高 尚徳 TEL 03-5977-3377
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第1四半期の連結業績（2024年7月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第1四半期	13,899	37.2	2,770	35.6	2,363	15.2	1,627	13.7
2024年6月期第1四半期	10,128	△23.3	2,042	△54.3	2,052	△55.2	1,431	△51.4

(注) 包括利益 2025年6月期第1四半期 1,577百万円 (8.8%) 2024年6月期第1四半期 1,449百万円 (△51.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第1四半期	66.26	66.03
2024年6月期第1四半期	68.33	68.05

(注) 当社は、2024年7月1日付で普通株式1株を3株に株式分割しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期第1四半期	120,857	59,748	49.3
2024年6月期	112,721	60,512	53.5

(参考) 自己資本 2025年6月期第1四半期 59,526百万円 2024年6月期 60,287百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	286.00	286.00
2025年6月期	—	—	—	—	—
2025年6月期(予想)	—	0.00	—	96.00	96.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2024年7月1日付で普通株式1株を3株に株式分割しております。2024年6月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2025年6月期(予想)については、当該株式分割後の数値を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2025年6月期(予想)の年間配当金は、288円となります。

3. 2024年6月期の期末配当金286円には、東証プライム市場上場記念配当30円を含んでおります。

3. 2025年6月期の連結業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,000	17.8	12,000	22.3	12,000	12.3	8,400	13.4	365.52

（注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2024年7月1日付で普通株式1株を3株に株式分割しております。2025年6月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割後の数値を記載しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 （社名）一、除外 一社 （社名）一

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年6月期1Q	25,389,636株	2024年6月期	25,389,636株
② 期末自己株式数	2025年6月期1Q	836,247株	2024年6月期	836,247株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年6月期1Q	24,553,389株	2024年6月期1Q	20,945,127株

（注）当社は、2024年7月1日付で普通株式1株を3株に株式分割しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における当社を取り巻く経営環境につきましては、国内経済は、物価高の影響から個人消費が弱含むも、企業の設備投資は底堅く推移し緩やかに回復している状況にあります。米国を中心とした海外経済は、労働市場の減速や内需に力強さを欠けるなど景況感は弱含んでいる状況が続き、長引く地域紛争や国政選挙による影響を意識した地政学的リスクの高まりを背景に、世界経済の成長力に不透明感が増している状況にあります。当社グループが関連する情報通信市場、半導体市場、エレクトロニクス市場につきましては、総じて、前連結会計年度の下期から鮮明となった受注の回復基調が継続しております。なお、需給を背景とした当社が取り扱う主要貴金属価格の変動や、各国中央銀行の金融政策を背景とした為替変動が複合的に作用し、当社の売上、利益に影響しております。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間において、売上高13,899百万円（前年同四半期比37.2%増）、売上総利益3,769百万円（前年同四半期比27.2%増）、営業利益2,770百万円（前年同四半期比35.6%増）、経常利益2,363百万円（前年同四半期比15.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,627百万円（前年同四半期比13.7%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

なお、セグメントにつきましては事業内容をより適正に表示するために、報告セグメントの名称を「ケミカル」から「ファインケミカル・リサイクル」に変更しております。また、量的重要性の観点から、当社製品の受注に関係しない主要な貴金属原材料の販売につきましては、「サプライチェーン支援」として報告セグメントに記載する方法に変更しております。

①セグメント別の業績

[電子]

海外の医療用シンチレーター（放射線に当たると、蛍光を発生する物質）に使用される単結晶育成装置向けイリジウムルツボの受注は堅調に推移いたしました。スマートフォンに使用されるSAWデバイス用のリチウムタンタレート単結晶育成装置向けイリジウムルツボの受注も回復の兆候がみられ、売上高1,533百万円（前年同四半期比1.1%減）、売上総利益704百万円（前年同四半期比42.3%増）となりました。

[薄膜]

データセンターに使用されるHD（ハードディスク）向けスパッタリングターゲットの受注は、前連結会計年度の第4四半期より回復基調が継続する一方で、夏場の急激な円高の影響を受け、売上高2,464百万円（前年同四半期比17.2%増）、売上総利益812百万円（前年同四半期比4.3%減）となりました。

[サーマル]

半導体製造向けに底堅い需要があるものの、半導体製造装置メーカーや海外半導体メーカーにおいて短期的な在庫調整の動きがみられ、売上高1,067百万円（前年同四半期比29.9%減）、売上総利益331百万円（前年同四半期比47.1%減）となりました。

[ファインケミカル・リサイクル]

電極向け貴金属化合物の受注が堅調に推移するとともに、有機EL向け化合物、化学プラント向け化合物の受注が復調し、売上高7,270百万円（前年同四半期比125.6%増）、売上総利益1,972百万円（前年同四半期比128.1%増）となりました。

[サプライチェーン支援]

当社製品の受注に関係しない貴金属原材料の需要にも一服感がみられ、夏場の急激な円高の影響も受け、売上高1,140百万円（前年同四半期比33.6%減）、売上総利益は前年同四半期比182百万円減少し、59百万円の損失となりました。

②海外売上

当第1四半期連結累計期間における海外売上高は9,131百万円（総売上高に占める割合は65.7%）となりました。地域別には欧州向け売上高3,447百万円（海外売上高に占める割合は37.8%）、アジア向け売上高2,960百万円（海外売上高に占める割合は32.4%）、北米向け売上高2,722百万円（海外売上高に占める割合は29.8%）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は120,857百万円（前連結会計年度末比8,136百万円の増加）、負債は61,109百万円（前連結会計年度末比8,899百万円の増加）、純資産は59,748百万円（前連結会計年度末比763百万円の減少）となりました。

①流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産残高は97,600百万円となり、前連結会計年度末比6,172百万円増加しました。これは原材料及び貯蔵品が6,329百万円増加したことが主な要因であります。

②固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産残高は23,257百万円となり、前連結会計年度末比1,963百万円増加しました。これは土地が1,048百万円、建物及び構築物が284百万円、機械装置及び運搬具が106百万円、ソフトウェア仮勘定が244百万円増加したことが主な要因であります。

③流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債残高は54,346百万円となり、前連結会計年度末比9,397百万円増加しました。これは支払手形及び買掛金が1,459百万円、未払法人税等が1,360百万円、1年以内返済予定長期借入金が367百万円減少しましたが、短期借入金が13,000百万円増加したことが主な要因であります。

④固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債残高は6,762百万円となり、前連結会計年度末比497百万円減少しました。これは長期借入金が492百万円減少したことが主な要因であります。

⑤純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産残高は59,748百万円となり、前連結会計年度末比763百万円減少しました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益1,627百万円がありましたが配当金2,340百万円を支払ったことにより、利益剰余金が713百万円減少したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2024年8月7日付「2024年6月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で発表しております計画から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,300	10,883
売掛金	6,074	6,294
受取手形	178	138
商品及び製品	3,898	3,152
仕掛品	5,015	6,756
原材料及び貯蔵品	61,301	67,631
未収消費税等	540	2,456
デリバティブ債権	1,594	—
その他	523	286
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	91,428	97,600
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	4,218	4,503
機械装置及び運搬具 (純額)	9,525	9,631
土地	1,960	3,008
リース資産 (純額)	838	752
建設仮勘定	478	1,051
その他 (純額)	192	190
有形固定資産合計	17,213	19,137
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	1,956	2,200
その他	58	53
無形固定資産合計	2,014	2,254
投資その他の資産		
投資有価証券	44	50
繰延税金資産	1,728	1,557
その他	293	257
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	2,064	1,865
固定資産合計	21,293	23,257
資産合計	112,721	120,857

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,792	20,333
未払金	3,527	2,918
短期借入金	12,700	25,700
1年内返済予定の長期借入金	3,291	2,924
未払法人税等	1,990	630
賞与引当金	461	217
役員賞与引当金	121	—
設備関係未払金	378	64
リース債務	168	155
デリバティブ債務	—	601
その他	517	799
流動負債合計	44,948	54,346
固定負債		
長期借入金	5,300	4,808
退職給付に係る負債	901	931
資産除去債務	43	43
長期末払金	401	401
リース債務	594	561
その他	19	16
固定負債合計	7,260	6,762
負債合計	52,209	61,109
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,662	10,662
資本剰余金	12,313	12,313
利益剰余金	38,526	37,812
自己株式	△1,323	△1,323
株主資本合計	60,178	59,465
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	3
為替換算調整勘定	119	77
退職給付に係る調整累計額	△13	△19
その他の包括利益累計額合計	108	60
新株予約権	83	83
非支配株主持分	141	139
純資産合計	60,512	59,748
負債純資産合計	112,721	120,857

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
売上高	10,128	13,899
売上原価	7,165	10,129
売上総利益	2,963	3,769
販売費及び一般管理費	920	999
営業利益	2,042	2,770
営業外収益		
受取家賃	3	5
為替差益	108	2,076
デリバティブ評価益	93	—
その他	1	2
営業外収益合計	207	2,084
営業外費用		
支払利息	193	278
デリバティブ評価損	—	2,196
その他	4	16
営業外費用合計	197	2,491
経常利益	2,052	2,363
税金等調整前四半期純利益	2,052	2,363
法人税、住民税及び事業税	546	564
法人税等調整額	77	173
法人税等合計	623	738
四半期純利益	1,428	1,625
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,431	1,627

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	1,428	1,625
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
為替換算調整勘定	9	△42
退職給付に係る調整額	11	△6
その他の包括利益合計	20	△48
四半期包括利益	1,449	1,577
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,451	1,579
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(棚卸資産と固定資産間の振替)

当社グループは、保有する貴金属資産の利用実態を見直しし、保有目的の変更により、棚卸資産と有形固定資産の間で振替えを実施しております。

当第1四半期連結累計期間において、保有目的の変更により、有形固定資産の一部を棚卸資産に、また棚卸資産の一部を有形固定資産に振替えております。これにより「原材料及び貯蔵品」が228百万円減少し、「機械装置及び運搬具」が172百万円増加し、「商品及び製品」が57百万円減少しております。また、「仕掛品」が438百万円減少し、「建設仮勘定」が552百万円増加しております。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
	増減額 (百万円)	増減額 (百万円)	増減額 (百万円)
商品及び製品	△397	△234	△57
原材料及び貯蔵品	334	249	△228
仕掛品	85	257	△438
機械装置及び運搬具	58	28	172
建設仮勘定	△80	△300	552

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	216百万円	309百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年7月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計 (注2)
	電子	薄膜	サーマル	フライン ケミカ ル・リサ イクル	サプライ チェーン 支援	計		
売上高								
日本	460	532	1,122	2,190	1,294	5,600	11	5,612
アジア(日本以外)	27	1,133	353	28	424	1,967	—	1,967
欧州	7	33	10	998	—	1,049	—	1,049
北米	1,056	402	35	6	—	1,500	—	1,500
顧客との契約から生じる収益	1,551	2,102	1,521	3,223	1,718	10,117	11	10,128
外部顧客への売上高	1,551	2,102	1,521	3,223	1,718	10,117	11	10,128
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,551	2,102	1,521	3,223	1,718	10,117	11	10,128
セグメント利益	495	849	626	865	123	2,959	3	2,963

(注1)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に仕入製品等の販売であります。

(注2)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年7月1日至2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計 (注2)
	電子	薄膜	サーマル	フライン ケミカ ル・リサ イクル	サプライ チェーン 支援	計		
売上高								
日本	956	596	544	2,648	15	4,760	8	4,768
アジア(日本以外)	10	1,409	471	50	602	2,545	415	2,960
欧州	—	94	5	2,825	522	3,447	—	3,447
北米	566	364	45	1,746	—	2,722	—	2,722
顧客との契約から生じる収益	1,533	2,464	1,067	7,270	1,140	13,476	423	13,899
外部顧客への売上高	1,533	2,464	1,067	7,270	1,140	13,476	423	13,899
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,533	2,464	1,067	7,270	1,140	13,476	423	13,899
セグメント利益又は損失(△)	704	812	331	1,972	△59	3,761	7	3,769

(注1)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に仕入製品等の販売であります。

(注2)セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

- (1) 前第3四半期連結会計期間より、事業内容をより適正に表示するため、報告セグメントの名称を「ケミカル」から「ファインケミカル・リサイクル」に変更しております。当該変更は、セグメント名称のみの変更であるため、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。

- (2) 前第3四半期連結会計期間より「その他」に含まれていた「サプライチェーン支援」について、量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載しており、前年同期の数値は変更後のセグメント区分に組替えた数値となっております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。